

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム ゆうゆう

作成日: 平成29年11月14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は事業所運営や介護支援をする際の拠り所となるものであり、全職員が理念を理解し共有しながら日々の支援に取り組むよう期待します。理念の実践に繋げていくためにも例えば理念や方針に基づく年間目標等を掲げ、日々の職務に就く際に職員へ意識づけし、定期的に達成度の振り返りを行うなど今後の取り組みに期待します。	利用者が日々安心し充実した生活が送れるように、理念に添った目標を職員全員で立て取り組んでいき、一年間の目標が達成できたら、次年度に繋げていく。	各部署の会議等で話し合い、理念に添った目標を立て、フローアに一年間の目標を掲げ職員全員が共有し取り組んでいく。	4ヶ月
2	5	職員間での身体拘束についての理解度にばらつきが窺えました。身体拘束防止に関するの外部及び内部研修を積極的に受講し、職員間での認識のずれをできるだけなくすようホーム内でも勉強会の機会を持ち、全職員が身体拘束にあたる行為について理解できるよう取り組まれることを期待します。	母体の事務長に身体拘束についての研修や内部研修を行って貰えるように相談する。	今後、身体拘束の研修などに行き、職員全員が勉強会で身体拘束について再度、認識し理解した上で身体拘束防止に取り組んでいく。	2ヶ月
3	6	満足度アンケートが実施されていますが、意見の記述が少ないため、例えば複数選択肢を羅列し、文章で書きにくい内容等については○で選択できるような内容にするなど、意見を出しやすいような工夫していくことを提案します。	事業評価アンケートの内容を工夫、具体化し家族の意見などが出やすいように様式を変え、家族からいろんな意見、要望がでるように取り組んでいく。	年1回、事業評価アンケートを家族にお願いし、アンケートの結果について、職員全員で話し合い利用者、家族の方が満足されるように取り組んでいく。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。